

鳥取県経済同友会西部地区 令和4年度事業計画

〔 自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月31日 〕

■ 基本方針並びに重点事業

新たな年度を皆さんと迎えることができ、大変うれしく思います。

WITH コロナの時代は、3年目となりました。感染拡大防止と経済活性化の両立という難題に皆さん立ち向かっていますが、以前にもお話をさせて頂いたように、人類は様々な問題・課題を克服して今があります。ゴールは近いと信じ、コロナ後の地域のことを考えたいと思います。

今の時代に皆さんと共有したいことを次の通り整理したいと思います。

1. 外部環境の変化

皆さんも感じておられると思いますが、あらゆる分野で、かなりのスピードで外部環境が変わっています。米国と中国の覇権争い、ロシアのウクライナ侵攻等、社会情勢に様々な混乱を生じています。それは遠い世界の出来事ではなく、地方で生活する我々にも多大な影響を及ぼします。更には、デジタル化と脱炭素の流れも我がこととして理解し、対応していくことが肝要です。

2. 価値観の共有

上記の通り、数年前には想像もできなかったことが起き、世の中は絶えず変化し、そのスピードも更に加速化していきます。その中で、鳥取県経済同友会西部地区として大事なことは、常に原点に戻り、この地域のことを、そして各会員企業のことを考えることではないでしょうか。

私は、「地域が元気になることは、その地域の企業が元気になること」、「そのためには、我々が行動する組織でありたい」と常々お話ししてきました。

我々の出す提言は、常に全てが上手くいくことはあり得ません。大切なことは、あきらめないこと、そして次に繋げる気持ちです。成長の芽は至る所にあり、皆さんと共に引き続き頑張りたいと思います。

変化の激しい時代であり、多様な価値観がお互いを刺激しあう時代です。我々の組織が、かけがえのない仲間として、共にこの地域を盛り上げる、そんな1年間を作り上げられますようお願いいたします。

〔各委員会方針〕

1. 鳥取県西部総合事務所と密接に連携し、鳥取県と歩調を合わせた方針の策定・検討
そのテーマ次第では、他委員会のバックアップ
2. 多様化する海外諸国、特にアジア圏の国々との連携の検討
3. 高等学校における講演会の実施と合わせ、県教委との連携による学校と経営者の交流活動の推進の実施
4. 過去5年間実施してきた関西学院大学・国際学部との連携を通じ、WITH/AFTER コロナ禍の観光戦略、特にインバウンド観光についての提言の検討
5. 島根県と大山・宍道湖・中海圏域の更なる発展に向けた協議
6. 日野郡と西伯郡、農業と林業にスポットを当てその魅力の発信
7. 境港を代表する水産業・水産加工業にスポットを当てた活性化の検討
8. 前期2年間でSDGsに関する理解は相当深まったと考え、同友会としてできることをSDGs 17項目の中より検討・実施
9. この地域の活性化のために、柔軟な発想での取り組みの検討
10. ふるさと教育読本の有効活用の検討

■ 実施事業

1. 会議の開催
 - (1) 定時総会
 - (2) 例会
 - (3) 幹事会
 - (4) 監査会
 - (5) 総務委員会
 - (6) 鳥取県成長戦略検討委員会
 - (7) 国際経済委員会
 - (8) 教育委員会
 - (9) 観光戦略委員会
 - (10) 鳥取島根合同委員会
 - (11) 大山圏域活性化特別委員会
 - (12) 境港活性化特別委員会
 - (13) SDGs 推進特別委員会
 - (14) 地域交流特別委員会
 - (15) ふるさと教育特別委員会
2. 基本方針・重点事業の実現のための提言
3. 境港等交通インフラの総合的整備への運動
4. 山陰自動車道早期完成への運動